

連載  
第6回

# 教師としての視野を広げる! 世界の日本人学校 マンスリーレポート

グローバルな現代社会。教室には、海外につながる子供たちも少なくありません!  
教師としての国際感覚を磨くため、海外の日本人学校の様子を毎月レポートします。

## 在外教育施設について

海外で日本の教育を受けることのできる教育施設で、「日本人学校」「補習授業校」等があります。現在、保護者の勤務の都合等で海外に滞在している日本の子どもたちは約8万3000人。このうち、約4万1000人が在外教育施設で学んでいます。

## バンコク日本人学校

山田 実加(やまだみか)

平成28年度～30年度、小学部1年生学級担任



## 1 赴任したきっかけを教えてください

私にとって学校とは、学習や人との関わりの中で新しいことを知り、自分の成長を感じることができる場所でした。そして海外も、文化の違いなど刺激に溢れていて、自分の視野を広げることができる場所でした。海外で生活し、日本人学校で働くことで、自分も子供たちと共に成長していけるのではないかと思います。海外子女教育振興財団の第1期募集に応募しました。タイを希望した理由ですが、大学在学中に、東南アジアを数カ国訪れる機会があり、温暖な気候とゆったりとした空気が好きになり、さらにタイ文字という日本語でもなくアルファベットでもない言語に魅力を感じ、未知なる言語に囲まれているタイで生活してみたいと思ったからです。



小学1年生の入学式では、400名を超える新入生が仲間入りします。

## 2 学校の概要を教えてください

バンコク日本人学校は、歴史の長さや規模の大きさに世界一を誇る日本人学校です。創立63周年を迎え、児童・生徒数は約2600名、教員数は約230名です。校舎は小学部3棟、中学部1棟、事務棟の合計5棟があり、さらに新校舎を増築するため現在工事が進められています。グラウンドは2つあり、人工芝、陸上用トラック、天然芝が整備されています。芝生の中庭があったり、バナナやゴールデンシャワーの木など南国らしい植物が植えられていたり、自然あふれる環境となっています。年間を通して行われる水泳学習や、タイ語や英会話の授業、タイの現地校との交流学習会など、バンコク日本人学校ならではの学習活動も行われています。



タイ人の水泳コーチが、年間を通して指導をしてくださいます。



## 3 この国の学校ならではの！という特徴は何ですか？

小学部では月に1度、音楽朝会が行われます。中庭におよそ2000人が集まり、毎月、代表学年の合唱や合奏の発表と全校での合唱があります。気持ちの良い青空の下、1～6年生の子供たちの美しい歌声が響き渡る様子は、圧巻です。また、本校ではどの学年も週に1時間タイ語の授業があります。日本語が話せるタイ人の先生による、ゲームを交えたわかりやすく楽しい授業です。子供たちはチャンツやゲームを通してどんどんタイ語を習得していきます。習ったタイ語を使って、学校で働くタイ人スタッフや現地の小学生とコミュニケーションをとっています。他にも、タイの現地校との交流学習会や校外学習、タイの教育関係者を招いて日本の授業研究の良さを公開する「Edu-portニッポン」など、ここできない活動があります。



図書館の蔵書は5万冊を超えます。毎週読み聞かせを行っています。

## 4 学校で勤務した感想を教えてください

とにかく「日々勉強」だと感じています。日本の各地から来られている先生、タイ語や英語の先生から、様々な指導方法を学ばせていただいています。また、子供たちとの何気ない会話から、自分が知らないタイのことや新しい視点を知れることなど、毎日の生活の中で得られるものがたくさんあります。この3年間小学校1年生の学級担任をさせていただきましたが、1年生の吸収力や適応力に驚かされます。知的好奇心溢れる子供たちと、子供たちの成長を願って指導にあたる先生方からエネルギーをもらえる環境に、感謝しています。大きな組織の中の一人として働くことや学習指導、学級経営が大変だと感じることも多々ありますが、この学校で働くことができよかったです。



カセサート大学附属小学校との交流学習会。

## 5 教え子が帰国したとき、日本の先生方に伝えたい伝達事項は何ですか？

「バンコク日本人学校の子供は〇〇だから△△してほしい。」というようなことはあまりないような気がします。日本人学校出身だから学力面や行動面に不安があるということはありません。日本の子供たちと同じく、日本人学校の子供たちもそれぞれ個性があり、必要なサポートは一人一人違ってくると思います。私の願いとしては、それぞれのご家庭の事情でタイで過ごした経験のある子を、その子として丸ごと受け入れてほしいということです。もう1つだけお願いしたいことがあるとすれば、休み時間は校庭に出て思いっきり遊ばせてあげてほしいということです。環境的な制約が日本より多く、外で全力で遊ぶという経験が少ないように感じられます。時には、教師も一緒に外に出て、体を動かして遊ぶことの楽しさを、是非子供たちに味わわせてあげてください。



小学部全員が、中庭に集まって集会を行います。

## 海外で働く 学校採用教員Q&A

Q13 募集される校種・教科は？

A13 2～3年で教員が入れ替わるため、その時に必要な校種・教科の教員を学校が募集します。幼稚園・小学・中学各教科・特別支援・養護などの募集があります。過去の採用教科についてはJOESホームページに掲載されています。

Q14 年齢やキャリアはどのような人が採用されていますか？

A14 新卒～シニアまで幅広い年齢の方が採用されています。既卒でも教員経験者・未経験者とキャリアも様々です。

## 海外子女教育振興財団

海外子女教育振興財団 (Japan Overseas Educational Services=JOES) は、1971年に外務省及び文部省(現文部科学省)の共管の財団法人として設立され、2011年には内閣府の認可を受け公益財団法人となりました。設立以来、海外子女・帰国子女教育の振興を図るため幅広い事業を実施しており、学校採用教員の雇用支援もその一環として行っています。

日本人学校等学校採用教員雇用支援、「学校採用教員レポート」などについて、詳しくはこちらから<http://www.joes.or.jp>

